



産出試験解析ワーキンググループ活動

平成14年度研究成果報告会
平成15年5月19日

井上 尚久 (JNOC TRC)

 The Research Consortium for Methane Hydrate Resources in Japan



産出試験解析ワーキンググループ

◆ 産出試験解析WG設立の趣旨

- 研究内容の重複およびデータ共有の必要性
 - 陸上産出試験のシミュレーション解析
 - メタンハイドレートの生産挙動解析シミュレータの開発
- 資源量評価と生産手法開発の両分野間にまたがる研究開発を円滑且つ効率的に進める。
- メタンハイドレートの産出試験に関わる研究内容、予算およびデータ配分等に関する協議の場。

 The Research Consortium for Methane Hydrate Resources in Japan



産出試験解析ワーキンググループ

◆ WGメンバー

• コリダー

- 増田 昌敬

東京大学, 生産手法開発グループ・グループサブリーダー)

- 井上 尚久

石油公団石油開発技術センター, メタンハイドレート研究PT)

- WGメンバーは固定しない。

- 検討すべきテーマについて, 生産手法開発グループと資源量評価グループから関係者が集まり, 適宜協議を行う。

産出試験解析ワーキンググループ

◆ H14年度活動報告

• コア実験手法に関する情報交換

- コア分解実験への産総研担当者の参加、H14年8月
- 産総研会議での分解実験および解析結果説明(2回)

• 研究の進捗状況に関する情報交換

- 両グループの内部検討会への相互参加(オブザーバー)

• マリック産出試験について情報交換

- H15年3月生産手法開発グループ・分解特性グループ会議

• 第2回陸上生産試験について情報交換、H15年3月

産出試験解析ワーキンググループ

◆ 平成15年度の活動計画

【課題】

- マリック産出試験の解析結果の検討
- 南海トラフの掘削調査で得られるコアの試験内容と各研究機関への配分方法に関する検討
- 室内実験と専用シミュレータの研究開発計画と産出試験との整合性の確認
- 第2回陸上産出試験で取得すべきデータに関する検討
- フェーズ2の海洋産出試験実施に向けての課題抽出とその準備
- 海外研究機関との研究交流

第2回陸上産出試験とフェーズ2で実施する海洋産出試験のテスト計画の立案に両グループの研究成果がフィードバックされるように、情報交換の場を設ける。